国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記　者　発　表

令和　１年　６月１２日
三　春　ダ　ム　管　理　所

リフレッシュ放流※1でダム下流河川の環境改善
～　一時的に放流量を増やして川をきれいに　～

〇三春ダムでは、6月21日から9月27日までの隔週でリフレッシュ放流を実施し、下流河川のよどみの解消・付着藻類の更新等を促し、河川環境の改善を図ります。
〇この際、外来魚（ブルーギル）の数を減らす取り組みとして、産卵後に貯水位を下げることで産卵した卵を干し上げ、駆除する操作※2も合わせて実施します。
◎リフレッシュ放流により、赤沼地点※3において大滝根川の水位が一時的に**最大70cm程度上昇する見込み**ですので、河川を利用される方は十分に注意してください。

※3　赤沼地点：赤沼水位観測所（郡山市中田町大字高倉地内、赤沼橋下流）

※1：リフレッシュ放流

夏場にダム下流の大滝根川の流量が減少して発生する「よどみ」等の河川環境の劣化に対し、ダム流下量を一時的に最大毎秒20m3（通常は毎秒2～3m3）に増加させることで、

①川の石に付着した古い付着藻類を洗い流し、新しい付着藻類の成長を促す

②川のよどみ（臭気等）の解消

による底生動物・魚類の良好な生育環境の保全と河川環境の改善を図ります。

※2：ブルーギル産卵床の干し上げ

リフレッシュ放流の際、一定期間貯水位を保って外来魚（ブルーギル）の産卵を促し、産卵後に貯水位を下げることで、産卵した卵を干し上げて数を減らす取り組み（平成24年度から実施）。

■リフレッシュ放流状況と効果　　別紙－１
■リフレッシュ放流を利用したブルーギル産卵床の干し上げ　　別紙－２

※降雨や放流量・貯水位の状況により中止または実施日を変更することがあります。

【発表記者会　郡山記者クラブ】

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　三春ダム管理所
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
電　話　0247-62-3145　ＦＡＸ　0247-62-3170
管理所長　中川（なかがわ）　博樹（ひろき）　（内線２０１）
管理係長　松崎（まつざき）　厚史（あつし）　（内線３３２）

【別紙－１】リフレッシュ放流状況と効果

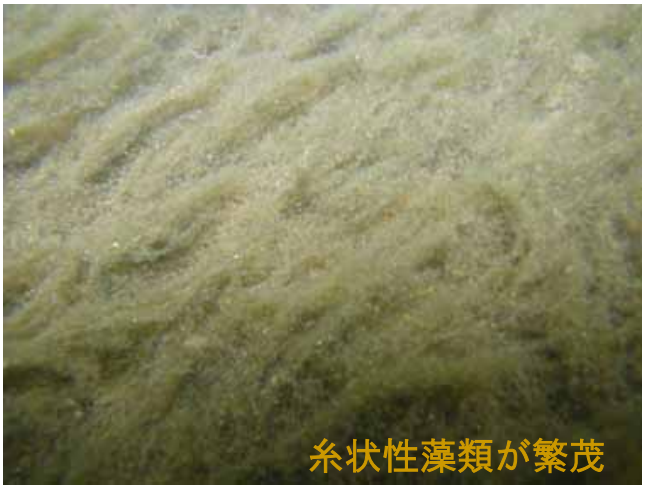


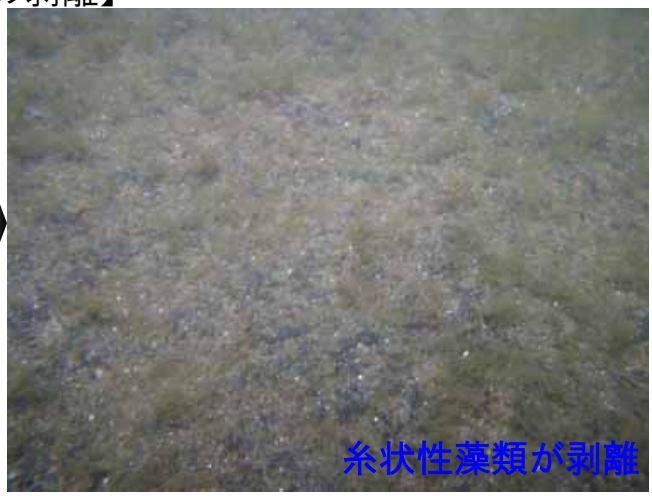
リフレッシュ放流状況

ダム流下量
約２０m3/s

リフレッシュ放流の効果

放流前　　【付着藻類の剥離】　　放流後





【よどみの解消】





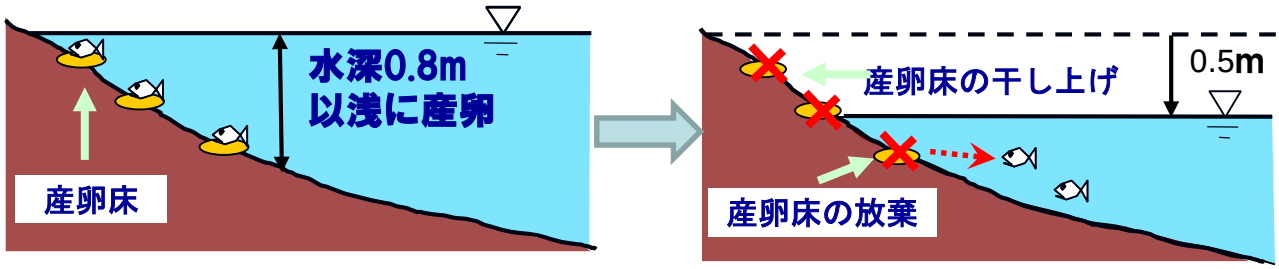
【別紙－２】リフレッシュ放流を利用したブルーギル産卵床の干し上げ

平成23年度まで
通常のリフレッシュ放流での水位低下幅（約0.3m）のみで実施

平成24年度～

平成23年度調査の結果、
・三春ダムのブルーギルの産卵水深は0.8mより浅い箇所
・リフレッシュ放流の時期とブルーギルの繁殖期が重複
⇒貯水位を0.5m下げた結果、ブルーギルの産卵床を干し上げ、または放棄させることができた。

※ブルーギルの繁殖開始時期
水温が20℃以上で産卵を開始（→ 6月中旬～7月下旬頃）



ダムの水位を下げ、浅瀬に産み落とされた卵を干し上げる

リフレッシュ放流で「干し上げ」又は「放棄させた」
ブルーギル産卵床数（平成24～30年度）

※H26, 29, 30年度：出水があり予定していたリフレッシュ放流を実施出来なかった。

